

## 第6回 調布市食物アレルギー事故再発防止検討委員会議事要旨

### ■日時

平成25年6月26日（水）午後6時30分～午後9時00分

### ■場所

調布市文化会館たづくり12階大会議場

### ■出席者 18人

伊藤俊克委員，赤澤晃委員，笹本和広委員，田中健次委員，塚越博道委員，小森美奈子委員，濱田賀津子委員，小寺浩二委員，松田秀男委員，田代和正委員，小杉茂委員，大木正勝委員，山本雅章委員，宇津木光次郎委員，村木尚生委員，高橋和男委員，秋國光宏委員，小坂力委員

### ■欠席者 1人

海老澤元宏委員

### ■顧問

副市長 小林 一三

教育長 海東 元治

### ■傍聴者

71人（報道関係者を除く）

### ■事務局

教育部

塩足次長

教育部学務課

元木課長補佐，内田係長，加藤主査，宮崎主任，安倍主事

### ■内容

#### 議事

（1）調布市食物アレルギー事故再発防止検討結果報告書（素案）について

ア 事故防止についての主な意見

・報告書の流れとして、事件事例と対策を整理した後、ガイドラインのフローチャートに当てはめて検討という構成の仕方など、少し順番を入れかえるほうが良い。

- ・安全だけを考えると、全ておかわり全面禁止は理解できない。子どもの気持ちにも沿って。

- ・(上記の意見に対し)安全が確保されるまでは、おかわりは危険。そこがクリアできればおかわりができるという方法が良い。

- ・食物アレルギー対応委員会の設置と記載があるが、具体的な取組等を書くべき。

- ・アレルギーの子を持つ親も食物アレルギー対応委員会に参加できるように。

- ・アレルギー対応委員会を作れば安心ではない。

- ・医師会と連携して、正しい診断を促していく旨の記載をしてほしい。

- ・保護者が管理指導表を提出していない場合や、本人の不注意で起きた事故もある。

- ・管理指導表が出ていない人が多くいる。相模原市は市が負担をおこなっている。

- ・管理指導表は食物アレルギーがない人も出すぐらいでないといけない。

#### イ 緊急対応についての主な意見

- ・慈恵医大の研修やホットラインについて、次年度以降についても決めるべき。

- ・緊急時、人を集めるのは大変である。学校の中でどのように人を集めるか課題。

- ・外部にすぐに状況等を説明できる連絡ツール(携帯電話やPHSなど)が必要。

#### ウ 給食指導についての主な意見

- ・ガイドラインは漠然としている。だから具体的に年間計画を立てて研修を行わなければならない。

- ・教職員の研修履歴を一括管理した方がよい。

#### (2) 今後について

7月中旬を目標に最終報告書の作成をおこなっていく。